

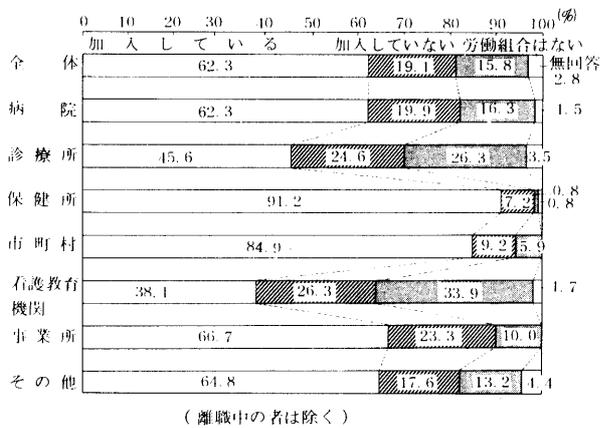
V 労働組合への参加状況と意識

看護協会活動への参加状況意識と比較するために労働組合についても同じような質問を行なった。

1. 労働組合への加入状況

会員の6割強は労働組合にも加入している。また、2割弱の会員の勤務場所には労働組合がない<図27>。

図27 勤務場所別労働組合加入の有無



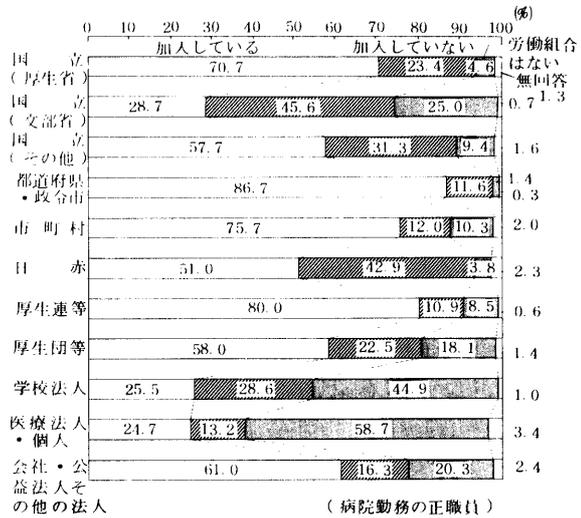
勤務場所別にみると、保健所、市町村勤務会員つまり保健婦の組合加入率が特に高い。また、診療所、看護教育機関では「労働組合はない」と答えた会員が比較的多い。

病院勤務者についてみてみると、設置主体により加入率が違う<図28>。自治体病院、中でも都道府県・政令市立の病院では、加入率が高い。医療法人・個人の病院では、「労働組合はない」と答えた会員が6割近くにのぼった。

2. 労働組合加入の動機 (組合加入者のみ)

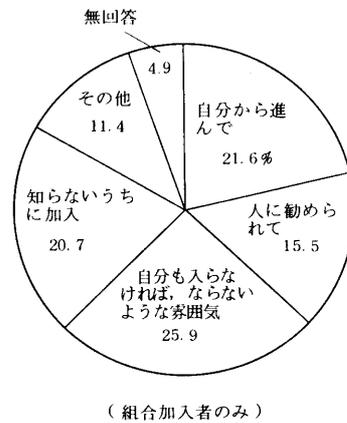
労働組合加入者についてみると、「自分から進んで・人に勧められて入ろうと思った」会員は半

図28 病院の設置主体別労働組合加入の有無



数以下にとどまった<図29>。これは、看護協会入会と同じ傾向である。

図29 労働組合加入の動機



看護協会への入会動機と合わせてみると、大きく4つのタイプに分かれた<表49>。一番多いのは、協会・組合どちらも仕方なしにもしくは知らないうちに加入した人達で両団体加入会員の31.1%を占めた。次に 両団体とも入ろうと思った人達で22.2%を占める。三番目に、協会には入ろうと思

表49 看護協会への入会動機と労働組合への加入動機

看護協会入会動機	労働組合加入動機	入ろうと思った	仕方なく・知らないうちに	その他	計
入ろうと思った		22.2%	14.6	4.4	41.2
仕方なく・知らないうちに		14.1	31.1	4.1	49.4
その他		2.6	3.4	3.4	9.4
計		38.9	49.1	11.9	100.0

(組合加入者のみ・無回答者を除く)
 ったが、組合へは意に沿わないまま入った人達で14.6%、最後に、組合には入ろうと思ったが、協会へは意に沿わないまま入った人達で14.1%であった。

3. 労働組合で取り扱う事柄(組合加入者のみ)

加入している労働組合で取り扱う事項をすべて選んでもらったところ、「看護職の給与・夜勤など労働条件の改善」が一番多く、次に「看護職員の増員」が多かった<表50>。

4. 労働組合運営への意見反映(組合加入者のみ)

協会についての質問と同様に、「あなたと同じ年齢や地位の組合員の意見は、労働組合の運営に反映されていると思いますか」と聞いたところ、「ある程度反映されている」と答える人が多かった<表51>。

看護協会の運営における意見反映と比べると、組合では反映されているが看護協会では反映されていないと考える人が多く42.1%を占めた<表52>。組合加入者はほとんど一般職(非管理職)であるので、これは一般職(非管理職)についての意識といえよう。両方に加入している一般職(非管理

職)の評価は、協会にとって厳しいものとなっている。

表50 加入組合の活動内容

加入組合の活動内容	会員数(%)
リクリエーションなどの企画	914 (50.0)
看護職の健康問題	541 (29.6)
職員の福利厚生の実	974 (53.3)
看護職の給与、夜勤など労働条件の改善	1,388 (76.0)
看護職員の増員	1,153 (63.1)
看護業務の内容・質の検討	385 (21.1)
准看護婦養成廃止問題	102 (5.6)
ILO看護条約の学習	175 (9.6)
医療関係法案についての討議	273 (14.9)
地域医療としての職場の役割	280 (15.3)
その他	94 (5.1)
被調査者全数	1,827 (100.0)

(組合加入者のみ)〔複数回答〕

表51 労働組合運営への意見反映感

労働組合の運営への意見反映感	会員数(%)
反映されている	251 (13.7)
ある程度反映されている	909 (49.7)
あまり反映されていない	512 (28.0)
まったく反映されていない	87 (4.8)
無回答	70 (3.8)
計	1,827 (100.0)

(組合加入者のみ)

表52 看護協会および労働組合運営への意見反映感

労働組合 看護協会	反映されている	反映されていない	計
反映されている	372 (23.1)	115 (7.1)	487 (30.4)
反映されていない	675 (42.5)	441 (27.3)	1,116 (69.6)
計	1,047 (65.3)	556 (34.7)	1,603 (100.0)

(組合加入者のみ・無回答者を除く)